

1980.1

雲間・暮色

綱 島 窈(館長)

「月も雲間のなきはいやにて候」1970年代が終り、1980年代が始まろうとする。冴えた月影が雲間に翳る。それもよしとする古来の美的感覚も重苦しい世相の中に消えてしまう。文明の行き過ぎを警鐘して「暗闇の思想」を唱える人もいる。いったん進んだ文明を後へ引き戻すといっても、それはできない相談でもあり、文明は進むのが当然であろう。だが、せめて進む道を考える手がかりを見つけるくらいはすべての人の意識の中になければなるまい。

「きょうのはちと甘か」次の日は「きょうのはちと辛か」と書いた札を立て筑後の路端で老

婆が自家製のたくあんを売っていたという話。これは孫引きの話ながらこんなことがまだあるのかと驚くのでは心細い。画一化された人間の頭ばかりでは途は一つになってしまう。「昼と夜との間の、人間がもっとも充実しなければならぬ夕方の暮色が無い」これが現代の人間生活だという。雲間や暮色にひかれる心が、人それぞれ、引き継いだ伝統や万巻の書物に宿る時間に左右されぬ力を見つけて、何かの手がかりをつけてくれることをひたすら願うほかないように思う。

55. 1. 3

★ 後期試験に備えて

1) 開館時間について

平 日 ; 9時から6時 (1/7 ~ 2/2)

土 曜 ; 9時から1時

但し1/26 (土) は3時まで開館

2) 一部図書の貸出期限変更について

試験期には、一部特定の図書に利用が集中します。このため、予約の多いものに限り、オーバーナイト貸出、三日貸出等の措置をとりますので御承知下さい。

3) その他の注意事項!!!!!!

★ カバン・袋類は必ずロッカーに入れてから入館しましょう。

★ 書架へ入る際の持込みは禁止です。

★ 館内での喫煙、飲食、また私語は固く禁じています。

以上を守って下さい。

春休み中の貸出と開館について

後期試験が終了しますと春休みに入ります。例年、春の長期貸出の希望がありますが、①春休み中、当館は平常開館していること、②二年次への進級では各学部分散してしまって図書の返却にトラブルが多い、等の理由により長期の貸出はしておりません。平常どおりの貸出になりますので御了承下さい。

なお、春休み中の開館時間は平日は9時~5時、土曜日は午後一時までです。2/25~3/1は、蔵書点検の為、閉館します。掲示に御注意下さい

「神話作用」としての図書館

前 田 富士男（独語）

プロレスについて私は何の関心も持たないから、真率なるファンの慨歎というわけにはいかないが、最近のテレビに映しだされるそれはあきらかに本来のプロレスと似て非なるものではないだろうか。およそ地中海の古典主義的な肉体美には程遠い畸形の大男たち、貧しい格闘技術、非祝祭的雰囲気。すべてのドラマが何とも悲しく、やりきれない。文化史をひもどくまでもなく、われわれの感情を必ずや興奮させるべきエンターテインメントの愉しみ、それがいないのだ。あるいは、スーパーカーの少年ファン。高級外車中古車店の金網に鈴なりになった彼らが陶然と、なめまわすようにフェラーリを、ランボルギーニを眺めている図はまさにある種の地獄図絵に相似する。しかし、一体こうした現象は何を意味しているのか。レスルする世界とボクシングとの差異は何か。なぜ流麗な真紅の車体に少年たちのイメージが費されるのか。

こうした問いかけに、無能な評論家諸氏とはケタちがいの素晴らしい視点から答えを与えてくれる書物も世の中には存在する。たとえば、フランスの構造主義的言語学者ロラン・バルトの『神話作用』もそのひとつである。この書を一読してみれば、われわれの知識が拡大するというのではない。そうではなくてわれわれの感性の遠近法が拡大されるという点で意味深い読書体験なのだ。読み終えてみれば、われわれはどうしてもパリは場末のプロレス小屋でテキサス・デスマッチぐらいみなければならぬという気がしてくるし、フランスの名車シトロエンDSとフランス中世のゴシック様式大聖堂との造形的関連が眼前に浮かびあがってくる。ちなみに、私も愛情をもつ点では人後に落ちないシトロエンについては、深田佑介氏の『新西洋事情』のなかに、この「怪盗児雷也の乗る妖しきガマガエ

エルにも似た」名車について興味深い記述があるけれども、残念ながらバルトの分析にくらべれば凡庸の域を出ない。すぐれた経験があっても、すぐれた知的な冒険がないからだ。

ところで、こんなことを述べてきたのも、われわれ研究者が図書館に身を置いているときの（利用しているときの、ではない。）体験は、ある意味ではバルトの書物がわれわれの中に喚起するものと同質だからである。われわれ人文科学系の研究者にとって、図書館はいわば自然科学研究者の実験室と同じ役割を果たしている。ある本を利用するためにではなく、漠然とした予感にひたってすぐれた蔵書を収めた書架の前に立つこと自体、すでに思考という限りない実験の始まりであり、すでに冒険への船出そのものなのである。あるひとつの予感は、書架を歩きまわって数々の書物と触れあううちに、ひとつの明確な問題となり、ひとつの世界となって呼吸しはじめる。知識を得るために利用する場としてではなく、感性を拡大させる場としての図書館こそ求められるべきではないだろうか。バルトの著書の名を借りれば、「神話作用」をもつ図書館を、というべきであろう。

そうした図書館など存在しえない、そもそも完全な図書館などありえないと、ひとは言うかもしれない。だが、私にとって「神話作用」をもつ図書館、ほぼ完全な図書館はすでに欧米に現実に存在している。ましてや図書館が、収書とともに情報検索、海外図書館との連絡を迅速適確に行なってくれる現代ではわが国でもこうした図書館は十分に成立可能なのである。われわれの教養部図書館にしても蔵書数については絶望的な現状であるにせよ、有能な司書の方々の努力によって新しい図書館サービスが実現されてきた。教養部が真の教養Bildungを育て

うる図書館を、「神話作用」をもつ図書館を実現し、われわれと学生諸君がともにすぐれた蔵書の埋まる書架で、あのスポーツや音楽にも似た思考の運動感を体験できる日の遠くないことを私は夢みている。それまでは、バルトの本でも読んで夢を癒すことにしても。

<推薦図書>

リルケ 著 谷友幸 訳 「神さまの話」

新潮社

☉943/R43

ロラン・バルト 著 「神話作用」

林達男 著 (林達男著作集第1巻) 「精神史」

平凡社

0816/H46/1

ル・クレジオ 著、豊崎光一 訳 「調書」

新潮社

953/L49

安東次男 著 「芭蕉七部集評釈」

集英社

911.32/A47

二次資料とは・・・・・・

そのII 蔵書目録について

前号では、二次資料について簡単に説明しました。では具体的に、二次資料にはどんなものがあるか当館の所蔵にも触れて紙面の許す限り記してみましょう。まず、所蔵(又は蔵書)目録について。図書館と蔵書目録とは切っても切れない関係にあると言えます。なぜならば、年々増え続けるであろう情報洪水の中から目録なしに図書を探すことはおそらく不可能に近いと言えるからです。特に閉架式を採用している図書館においてはなお更のこと、目録を使わずしては目的の図書に到達できないシステムとなっています。蔵書目録を二大別すると、単行書目録と雑誌目録があります。また単行書のうちの一部のみを収録したもの、例えば特定の主題に限定した主題目録、参考図書目録、公共図書館などの郷土資料目録、又、寄贈者名を冠した○○文庫、特殊コレクションなどさまざまな性格の目録があります。大きくは国立国会図書館の所蔵目録から小は市町村立の公共図書館のそれまで千差万別と言えます。また一図書館の所蔵目録にとどまらないもの、例えば数館にわたる目録(例えば医学図書館のみを収録する)、ある地域に所属する図書館を収録するもの、広域に渡るもの、全国的規模のもの、いわゆる総合目録とかユニオン・カタログと呼ばれる目録類も使う身になれば有難い便利なものです。使用目的に応じて求められる蔵書目録の性格も自ずと決定してくるものでしょう。以下は、当館所

蔵の蔵書目録のうち、二次資料コーナーに別置してあるものを中心に挙げてみましょう。

図書館情報学関係外国雑誌総合目録、JLA 1978 (010.31/To72) /全国特殊コレクション要覧、国立国会図書館編、1977 (027/Ko49) /旧植民地関係機関刊行物総合目録、アジア経済研究所 (027.2/A27/1~3) 国立国会図書館所蔵新聞目録、1970年版 (027.5/Ko49/1970) 明治の教科書展示目録、京都外国語大学附属図書館、1972 (027.8/Ky6) /神奈川県立川崎図書館参考図書目録、1968年12月末現在 (028/Ka43/1968) /公害関係図書目録、1967-1970 全国市有物件災害共済会防災専門図書館 (028/Z3/67-69) /国立国会図書館所蔵明治期刊行図書目録1~5、索引 (029.11/Ko49m/1~5、Index) 相模原市立図書館郷土資料・参考資料目録、1976 (029.2/Sa15) /相模原市史資料目録 1974 (029.3/Sa15) /東天紅 明治新聞雑誌文庫所蔵目録 東京帝国大学 1974 (029.7/To46) /日本キリスト教史文献目録、関東学院大学図書館 1976 (190.203/Ka59) /国立国会図書館所蔵国際連盟・国際連合刊行資料目録1~4 (392.33/Ko49/1~4) /ウィリアム・シェイクスピア作品と参考文献、京都外国語大学附属図書館 1978 (930.28/Sh12) /ゲーテ文献目録1972 京都外国語大学附属図書館 (940.031/Ky6)

また上記以外に雑誌では最もよく使用する目録として、文部省学術局でまとめている学術雑誌総合目録があります。これは、人文科学、自然科学それぞれに和文編、欧文編と分かれ、数年毎に、新しい情報がインプットされ、改訂版として出版されるようになっています。大学図書館間の相互貸借には欠かせない重要な目録です。他にも、医学雑誌総合目録欧文編・和文

編（日本医学図書館協会編）、日本科学技術情報センターの逐次刊行物所蔵目録、東京都立中央図書館・日比谷図書館の雑誌目録なども同様です。その他にも蔵書目録、雑誌目録多々ありますが、紙面の都合、割愛させていただきます。学生時代に充分慣れ親しむことが資料到達への第一歩と言えるかもしれません。

類縁機関案内

後期試験が終了しますと、四月の新学期まで長い春休みに入ります。この機会に、日頃なかなか行けない図書館を利用してみるのも有効な過ごし方かもしれません。以下に都内、近県の図書館を紹介しましょう。また更に詳しく知りたい方のために、次のような資料を紹介します。

- ★日本の図書館 日本図書館協会編
- ★神奈川の図書館 神奈川県図書館協会
- ★専門情報機関案内一東京版一
東京都立中央図書館
- ★ふみくら一日本の文庫案内一朝日新聞
- ★音楽資料探訪一東京とその周辺一
音楽図書館協議会
- ★専門情報機関総覧 専門図書館協議会

名 称	所 在 地	T E L	交 通 機 関	利 用 資 格 (入 館 条 件)	開 館 時 間	休 館 日
国 立 国 会 図 書 館	千代田区永田町 1-10-1	581-2331	(地) 丸の内線 国会議事堂前	一 般	9:30~17:00	日・祝・月末
都 立 中 央 図 書 館	港区南麻布 5-7-13	442-8451	(地) 日比谷線 広尾	"	9:30~20:00 (土 17:00)	月・祝・14日
都 立 日 比 谷 図 書 館	千代田区日比谷公園 1-4	502-0101	(") " 霞ヶ関	"	10:00~19:00 (土 17:00)	日・祝・14日
神 奈 川 県 立 図 書 館	横浜市区紅葉ヶ丘 9-2	045 241-3131	(国) 桜木町	"	9:00~19:00 (土 17:00)	日・祝・月始
神 奈 川 県 立 川 崎 図 書 館	川崎市富士見町 2-1-4	044 233-4537	(") 川 崎	"	9:00~19:00 (土・日 17:00)	月・祝・月始
横 浜 市 立 図 書 館	横浜市区老松町 1	045 231-1304	京浜急行 日の出町	"	9:00~19:00 (土・日 17:00)	月・祝・月末
相 模 原 市 立 図 書 館	相模原市鹿沼台 2-13-1	0427 54-3604	横浜線 淵野辺	"	9:00~17:00	月・祝・月末
日 本 近 代 文 学 館	目黒区駒馬 4-3-55	468-4181	井の頭線 駒馬東大前	18才以上 (100円)	9:30~16:30	日・祝・月末
東 京 ア メ リ カ 文 化 セ ン タ ー 図 書 館	港区芝公園 2-3-6ABC会館	436-0901	(国) 浜松町	一 般	10:30~18:30 (土 14:30)	日・日米の祝
東 京 ゲ ー テ ー イ ン ス テ ィ ュ ー ト	港区赤坂 7-5-56	583-6369	(地) 銀座線 青山 1 丁目	"	10:00~18:00 (月 14:00~20:00)	土・日・祝
日 仏 会 館 図 書 館	千代田区神田駿河台 2-3	291-1144	(国) お茶の水	"	10:00~18:00 (7日~9日 17:00)	日・祝・7/14 12/25・夏季土

閲覧ニュース25号

1980. 1. 17

北里大学教養図書館

発行責任者 綱 島 窈